



ふるさと
“やまなし”に
生きる子供たちの

豊かな心の 育成のために

TSUBASA (No.53)

つばさ53号

山梨県教育委員会

みんなで見守ろう!山梨の子供たち

友達と協力するのは楽しい
95.1%

自分にはよいところがある
80.3%

いじめはどんな理由があってもいけないこと
97.6%

人が困っている時は進んで助けている
91.6%

学校に行くのは楽しい
86.6%

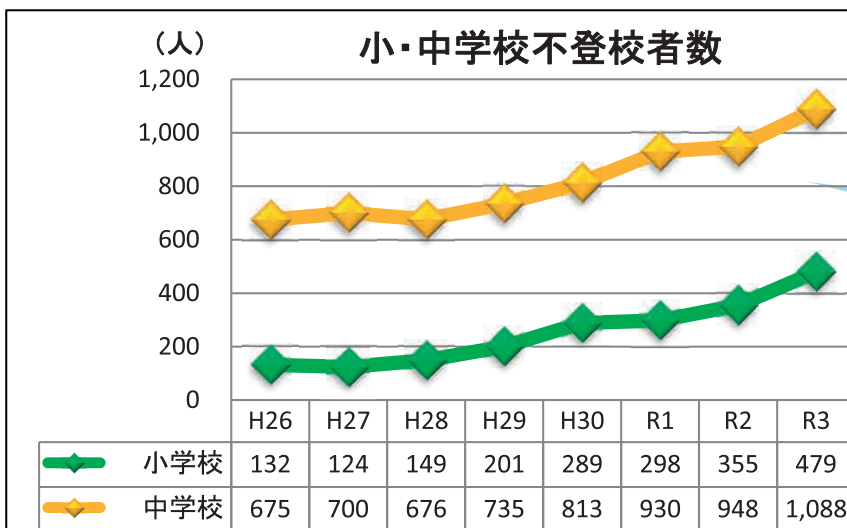
将来の夢や目標をもっている
82.7%



「令和4年度全国学力・学習状況調査『児童質問紙』」小学校結果より

いいじゃん!山梨!!

※「当てはまる」「どちらか」というと当てはまる」と回答した子供の割合が全国より高かった項目例



その一方で……

不登校児童生徒は増加傾向に

「令和3年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果より

朝、起きられなくて体がだるいな……

学校に行こうとすると体調が悪くなるんだよな……

人間関係って難しい……

勉強が難しくわからない……

子供たちは漠然とした不安感を抱いています

「令和2年度 不登校児童生徒の実態調査」結果より



子供の変化を見逃さないように、 家庭・地域・学校が連携を！



子供の様子を学校でチェック！

- 乱暴な言葉を使うようになる。
- 「学校がつまらない」、「学校へ行きたくない」といった様子が見られる。
- 体の不調や頭痛、腹痛を訴えるようになる。
- 遅刻や早退が急に増え、断続的（特定の曜日や教科）に欠席するようになる。
- 授業中に集中力がなくなったり、生活態度が無気力になったりする。 など



子供たちの様子に目を配るとともに、「安心・安全な学級づくり」「わかって楽しい授業づくり」を心がけていくことが大切です。

みんな、一人で 抱え込まない

相談窓口

- 相談支援センター



- 山梨大学教育学部附属教育実践総合センター



(メールの件名に「相談希望」、本文に連絡先、連絡方法の希望、相談内容を記入し、送信)



子供の様子を 地域でチェック！

- 表情が暗い。
- 一人で下校している。
- 一緒にいても友達との輪に加わっていない。

いつもと違う様子が見られたら、学校へお知らせください。



子供の様子を家庭でチェック！

- 食欲……食べる量が普段より急に増えたり減ったりしている。
- 体調……倦怠感、疲労感、腹痛、頭痛、めまいなどを頻繁に訴えてくる。
- 睡眠……寝付けない、起きられないなど生活に支障をきたしている。
- 行動……暴言、暴力、ぼんやりしているなど「いつもと違う」様子が続いている。 など

睡眠、バランスのよい食事、軽い運動などをして、まずは「体調」を整えることが大切です。加えて、「困っていることがないか」、本人の話をしっかりきくことが大切です。日常生活に大きな影響が出ていない場合は見守ってあげたり、一緒に、もやもやした気持ちに共感して、寄り添ってあげたりすることも一つの方法です。



(協力:山梨大学 川本静香 准教授)

しなやかで豊かな心を育む

山梨県教育委員会教育長 手島 俊樹

グローバル化の進展や IT 技術の飛躍的な発展など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。このような中、子供たちには、社会の変化に主体的に向き合って関わり合い、多様な他者と協働しながらよりよい社会を構築し、幸福な人生を自ら切り拓いていく力が求められます。また、子供たちが自ら考え、これからの時代をよりよく生きていくために、しなやかで豊かな心を育てていくことが重要となります。

県では、「山梨県教育振興基本計画」において、「生きる力」を育む質の高い教育の実現を基本目標に、しなやかで豊かな心の涵養を目指した教育の充実に向け、様々な施策を推進してきました。その一つである「しなやかな心の育成プロジェクト」では、家庭・地域・学校が連携し、子供たちに自己肯定感を基盤とした他者を思いやる心や、困難や挫折に直面しても諦めない心など、豊かな情操を育む活動の充実を図っています。

本誌では、はじめに、家庭・地域・学校、それぞれにおける子供との関わり方についての提案をしています。これは、それぞれの立場で子供たちの変化を見逃さない意識をもつことが重要で、家庭・地域・学校が連携して子供たちを見守る体制をつくっていくことをねらいとしています。また、その後には道徳教育研究推進校における研究の成果や、家庭・地域との連携の上に立った道徳教育の具体的な実践事例を掲載し、各学校での今後の取組の参考となるようにしています。

子供たちが健やかに成長していくためには、学校だけでなく家庭や地域における生活も大切です。子供たちの生活基盤である家庭や地域が、学校と一体となって、ふるさと「やまなし」に生きる子供たちを見守り、しなやかで豊かな心を育ていけるよう、本誌を役立てていただくことを期待しています。

しなやかな心の育成プロジェクト

ファミ・コミ・スクール コミュニケーション

山梨県では、児童生徒の健全な成長に関わる問題の解決に向け、子どもたちに自己肯定感を基盤とした<自他を敬愛する心>、困難や挫折に直面しても<諦めない心>など、豊かな人間性を育むために、道徳教育の学びを深め、地域全体で子どもたちを育てていく環境づくりを進める取組を行っています。

「家庭（ファミリー）」でのプロジェクト

家読（うちどく）推進運動
～家庭での家族間の読書活動～

<生涯学習課事業>



家族で心も体もウォームアップ運動

<保健体育課事業>



「地域（コミュニティ）」でのプロジェクト

気配り思いやり マナーアップ運動

<高校教育課事業>



「学校（スクール）」でのプロジェクト

やまなし道徳教育推進事業

<義務教育課事業>

「家庭・地域・学校」関係プロジェクト

「しなやかな心の育成」ワークショップ
道徳教育推進会議

<保健体育課事業>

<義務教育課事業>